

公定歩合引下げ等に関する政策委員会議長談

(昭和52年9月3日)

日本銀行は、本日 公定歩合の0.75%引下げを決定し、9月5日から実施することとした。

また預金金利の変更につき本日大蔵大臣から発議を受け、直ちに金利調整審議会に諮問を行った。

今回の措置は当面の経済情勢にかんがみ、財政面からの諸施策とも併せ景気の着実な回復に資するため、この際金利全般の低下を一段と促進していくことが適当との判断に基づいてとられたものである。

準備預金制度の準備率についても、その引下げにつき検討する方針である。

もとより物価の安定確保は引続き重要な課題であり、日本銀行としては今後とも政策運営に当たって物価の動向に十分留意していく所存である。

日本銀行基準割引歩合および貸付利子歩合の変更

(昭和52年9月5日実施)

- | | |
|---|------------------|
| 1. 商業手形割引歩合ならびに国債、特に指定する債券または
商業手形に準ずる手形を担保とする貸付利子歩合 | 年4.25%(0.75%引下げ) |
| 2. その他のものを担保とする貸付利子歩合 | 年4.5%(0.75%引下げ) |